

◆ 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。

ベストアメニティスタジアム周辺を清掃している福山嗣郎さん(鳥栖市)



スタジアム周辺清掃

元自衛官「声掛けられて励みに」

鳥栖市本鳥栖町の福山嗣郎さん(68)が昨年2月から、サガン鳥栖のホーム・ベストアメニティスタジアムの周辺道路で、週1回のボランティア

清掃を続けている。元自衛官の福山さんは退職後の2007年夏から、自宅近くの旧長崎街道でゴミ拾いを始め、市の「道路里親」にも地域で参加した。現在、コースを決めて週3回の清掃ボランティアに励んでいる。



（佐賀新聞 平成二十三年七月八日付 十四面）

スタジアム周辺に範囲を広げたのは、サガン鳥栖の後援会に入ったのがきっかけ。年間1万円の支援のほか、役立つことはないかと考えたという。今春からは道路里親に個人でも登録した。

道路里親の黄色い帽子と、スタジアムを管理する地域振興財団から贈られたベストを着用し、金ばさみとごみを入れるビニール袋を手に1時間半程度歩いて回る。

道路にはたばこの吸い殻やガム、植え込みの陰には空き缶などが転がる。福山さんは「通りがかりの人たちが声を掛けてくれるのが励み。ホームタウンのイメージアップに役立つやりがいもある」と話した。(宇都宮忠)

1 記事を読んで、分かることを二つ選び、○をつけましょう。

1 福山さんは、清掃ボランティアを仕事として行っている。

2 福山さんは、清掃ボランティアを行う時は一時間以上行っている。

3 道路に多いごみは、ペットボトルである。

4 福山さんは、週に一回、スタジアム周辺の清掃をしている。

二 福山さんがスタジアム周辺の清掃ボランティアを始めたきっかけを書きましょう。

・サガン鳥栖のこうえん会に入ったこと。
・年間一萬円の支援のほか、役立つことはないかと考えたこと。(※どちらか、またはこの二つをまとめた解答であれば正答。)

三 福山さんがこの清掃ボランティアを行って思っていることが分かるところを、次の【条件】に合わせて書きぬきましょう。

【条件】

- 六十字以内で書きましょう。
- かぎ「」 を使って書きましょう。かぎは、一マスに数えます。

新聞のような記事では、「」の中にその人の言ったことや思ったことを書くことが多くなりますね。

「	通	り	が	か	り	の	人	た	ち	が	声	を	か	け	て	く	れ	る	の
が	は	げ	み	。	ホ	ー	ム	タ	ウ	ン	の	イ	メ	ー	ジ	ア	ッ	プ	に
役	立	つ	や	り	が	い	も	あ	る	」									

60字

名前

こたえ

◆ 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。

手作りイカダで川下り



手作りのイカダに乗り、元気に声をかけ合いながら川を下る富士小の子どもたち—佐賀市の嘉瀬川

嘉瀬川 富士小児童が挑戦

佐賀市 佐賀市富士町の富士小の4年生8人が14日、手作りのイカダで嘉瀬川の川下りに挑戦した。先生や保護者の応援を受けながら「いち、にーい」と声をかけ合ってハッスル。必死にパドルをこぎ、500メートルのコースを50分かけてゴールした。

イカダは4人乗りで幅1メートル、長さ2メートル。竹を固定した骨組みがベースで、木の板とゴム製の浮輪をひもで結び付けている。ライフジャケットを着た子どもたちは、アニメのキャラクターなどを描いたパドルを手に、4人ずつ2台のイカダで出発。逆風でなかなか進まず、懸命にゴールを目指した。

井上忠日人君(10)は「思ったより手が疲れたけど、楽しかった」と満足げに語った。



手作りイカダの川下りは、環境学習も兼ねて担任の吉田誠也、教諭(38)が考案。保護者は「自然に触れるいい機会になった」と話していた。

(佐賀新聞 平成二十三年七月十五日付 十五面)

二 あなたがこの記事を読んで思ったことや考えたことを四十字以上、六十字以内で書きましょう。

例

き	い	手
た	い	作
ら	な	り
楽	あ	の
し	と	イ
い	思	カ
だ	っ	ダ
ろ	た	で
う	。	実
と	み	際
思	ん	に
っ	な	川
た	で	下
。	こ	り
	ん	を
	な	す
	こ	る
	と	な
	が	ん
	で	て



★記事の内容と自分の経験を関わらせて書けるとよいですね。

一 次のアからオの内容について、記事の中から書きぬきま

しょう。

ア いっ

(7月) 14 (十四) 日

イ どこで

かせ川

ウ だれが

(佐賀市富士町の) 富士小の四年生 八人

エ 何をした

(手作りのイカダでの) 川下りに挑戦した

オ 体験をした小学生が語った言葉

「思ったより手がつかれたけど、楽しかった」

◆ 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。

元Jリーガーとミニゲーム



子どもたちボールを追いかける三浦淳亮さん
佐賀市の三瀬小

三瀬小 三浦さん「目標 具体的に」



佐賀市 元Jリーガーで日本代表として活躍した三浦淳亮さん(選手名「淳亮」が12日、佐賀市の三瀬小でサッカー教室を開いた。4～6年生38人に「目標をかなえる方法を具体的に考え、自分の行動や言葉を日々振り返ることが大切」と語り、「一緒にミニゲームなどで汗を流した。

三浦さんは高校時代に全国優勝、プロ入り後は日本代表と、それぞれのステージで目標を設定、努力を重ね、夢

をかなえてきた。現役引退し、Jリーグの監督になることを新たな目標としている。

「ぼんやりとつまづきなりたいたい、勉強ができるようになりたいと思うのはため。どうしたらという具体的な方法を考え続けて」と三浦さんが語りかけると、子どもたちは目を輝かせて聞き入った。

小学1年からサッカーを始め、三浦さんにリフティングを披露した浜辺成虎君(10)は「目標を持つことが大切だと思った。千回連続でできるよつになるまで頑張りたい」と話した。(川崎久美子)

(佐賀新聞 平成二十三年七月十四日付 十五面)

オ 小学生の浜辺君が話した言葉

「目標を持つことが大切だと思った。千回連続でできるようになるまでがんばりたい。」

二 (例) あなたがこの記事を読んで思ったことや考えたことを四十字以上、六十字以内で書きましょう。

これまで書道を続けてきたが、ただ練習する
だけでなく、目標をかなえる方法を具体的に
考え、上達するようがんばりたい。

一 次のアからオの内容

について、記事の中から書きぬきましょう。

ア いう

(7月) 12 (十二) 日

イ どこで

佐賀市の三瀬小

ウ だが

(元Jリーガー日本代表として活やくした) 三浦あつひろさん

エ 何を どうした

サッカー教室を開いた。

読む

新聞記事を読もう 4

名前

こたえ

◆ 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。

歌集「ひまわり」できたよ

秋の情景いきいき112首

本庄小6年生



(佐賀新聞

平成二十三年十月十四日付 十七面)

佐賀市 道校長で、地元の自治会長らに講師に招いた短歌の授業があり、6年生の短歌をまとめた歌集「ひまわり」が完成した。それぞれ子どもらしい感性と素直な表現で、「秋」の情景を生き生きと切り取っている。

制作した短歌をまとめた歌集「ひまわり」を手にする6年生と、指導した丹野眞智俊さん(後列右)＝佐賀市の本庄小

自治会長らが講師

短歌の授業は、市の地域「コミュニティ活性化」モラル事業の一環で、本庄まちづくり協議会の地域の丹野眞智俊さん(73)らが講師を務めた。授業では正岡子規や若山牧水、石川啄木の短歌を味わい、作品に込められた思いを学習。「彼岸花」「秋祭り」「芭蕉」を題詠に、「五七五七七」と指で字数を数えながら短歌に挑戦した。
「キレイだな花火のように映く花だ。秋の小道に咲く彼岸花(川浪総明君)」「秋祭りみこしをかつぐ五秒前。はちまき締めて気合を入れる(内山日菜子さん)」。歌集には6年生全員の112首が収められた。丹野さんは「躍動感にあふれる作品ばかり。命や社会事象に目を向けるきっかけになれば」と話す。完成した歌集は6年生全員に贈られたほか、地元公民館などにも寄贈された。

新聞で学ぼう

① 見出し (ア)

② リード文 (エ)

③ 本文 (イ)

④ 写真とその説明 (ウ)

上の新聞記事の①から④の部分には、それぞれどのような持ちようがあるでしょう。次の【新聞記事の持ちよう】の、アからエまでのの中から、合うものを選んで、() () に記号で書きましょう。

【新聞記事の持ちよう】

ア 記事の題に当たる。記事の中心を短い言葉で表して、ひと目で分かるように大きく書かれている。

イ 出来事のくわしい内容が書いてある。

ウ 内容をより分かりやすく、くわしく伝えるために、のせられる。

エ 記事の内容を短くまとめて書いてある。

読む

新聞記事を読もう 5

名前

こたえ

◆ 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。

② **ルール守り** ⑤ **なくそう**

秋の交通安全運動始まる

佐賀市 「守ろう交通ルール、高めよう交通安全」をスローガンに、秋の交通安全県民運動が21日、県内で一斉に始まった。県内では20日までに昨年より280件多発活動を展開する。30日まで。

佐賀市交通対策協 〇：今月1日からの佐賀県道交法施行細則の一部改正に伴い、佐賀市交通対策協議会は20日夕、JR佐賀駅前の交差点など3カ所で、自転車運転中に携帯電話を使用しないよう中高生に訴えた。

交通安全指導員ら約40人が参加。自転車で下校する中高生にチラシや反射タスキを配り、「自転車運転中の携帯電話の通話やメールは禁止。違反したら5万円以下の罰金が科されます」と声を掛けた。参加者は「傘さし運転や夜間の無点灯運転もしないで」と話した。

佐賀新聞 平成二十三年九月二十二日付 十五面

③ 自転車運転中の携帯電話使用禁止を訴えるチラシを配る交通安全指導員（佐賀市の駅前交番西交差点）

④ **自転車運転中は携帯ダメ**

① **中学生に呼び掛け**

事故

二 右の新聞記事の⑤の部分に入る言葉を、漢字二字で書きましょう。

三 あなたがこの記事を読んで思ったことや考えたことを四十字以上、六十字以内で書きましょう。
解答例

私自身も自転車のルールを守ろうと思った。	いることを知った。交通事故をなくすために	佐賀県内でたくさんの交通事故が起こって
----------------------	----------------------	---------------------

60字 40字

一 上の新聞記事の①から④の部分は、次のアからエのどれにあてはまる内容でしょう。記号で書きましょう。

③	①
エ	イ
④	②
ウ	ア

ア	見出し
イ	リード文
ウ	本文
エ	写真とその説明

◆ 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。

歌集「ひまわり」できたよ

本庄小6年生



佐賀市 佐賀市の本庄小(古賀正道校長)で、地元の自治会長らを講師に招いた短歌の授業があり、6年生の短歌をまとめた歌集「ひまわり」が完成した。それぞれ子どもらしい感性と素直な表現で、「秋」の情景を生き生きと切り取っている。

秋の情景いきいき112首

創作した短歌をまとめた歌集「ひまわり」を手にする6年生と、指導した丹野眞智俊さん(後列右)＝佐賀市の本庄小

自治会長らが講師

短歌の授業は、市の地域コミュニティ活性化モデル事業の一環で、本庄まちづくり協議会の地域教育実践部が企画。本庄自治会長の丹野眞智俊さん(73)らが講師を務めた。授業では正岡子規や若山牧水、石川啄木の短歌を味わい、作品に込められた思いを学習。「彼岸花」「秋祭り」「芒原」を題詠に、「五七五七七」と指で字数を数えながら短歌に挑戦した。「キレイだな花火のように咲く花だ 秋の小道に咲く彼岸花(川浪 綾明君)」「秋祭りみこしをかつぐ五秒前 はちまき締めて気合を入れる(内山日菜子さん)」。歌集には6年生全員の112首が収められた。丹野さんは「躍動感にあふれる作品ばかり。命や社会象に目を向けるきっかけになれば」と話す。完成した歌集は6年生全員に贈られたほか、地元公民館などにも寄贈された。

(佐賀新聞 平成 23年 10月 14日付 17面)



記事の中の短歌を参考にしてみてください。

一 この記事の、短歌の授業の題詠(短歌をつくるときのテーマ)は何でしたか? 「芒原」以外のあと二つを書きましょう。

彼岸(ひがん)花

秋祭り

二 上の題詠の中から一つを選んで、あなたも短歌をつくってみましょう。(五七五七七の字数で)

短歌の例

- 「あぜみちに ひっそり咲いていた ひがん花 見つけたわたしとにらめっこ」
- 「ピーヒャララ ふえの音(ね)ひびくよ 秋祭り はっぴをはおれば お祭り気分」

読む

資料を活用した文章を読もう①

名前

答え

一 図①を説明しているのは、□から六段落の中のどの段落ですか。□の中に段落の番号を書きましょう。

三

段落

二 四段落は、図②を示しながら説明している段落です。その説明の仕方で、あてはまらないものをアからエまでの中から一つ選んで、記号に○を付けましょう。

ア 図①と図②を比べて分かったことを説明している

イ 具体的に数字を示しながら説明している

ウ 何を表すグラフなのかを説明している

エ 図②から読み取れることを説明している



三 この文章には、ハイブリッドカーの問題点がいくつ挙げられていますか。□にあてはまる数を書きましょう。

二

つ

ハイブリッドカーの問題点について書かれている段落は、五段落です。その段落の、「一つ目は」「二つ目は」という言葉に注目しましょう。ハイブリッドカーの問題点が、二つ書かれていることが分かりますね。

四 筆者は、なぜ図①や図②を示しながら説明しているのでしょうか。あてはまるものをアからウまでの中から一つ選んで、記号に○を付けましょう。

ア 読み手をたいくつにさせないようにするため

イ 文章構成を分かりやすくするため

ウ 自分の考えに説得力をもたせるため

文章中に伝えたい内容に合った資料を示し、説明を加えることで、自分の考えに説得力をもたせることができます。

活用

新聞記事に見出しをつける

①

名前

こたえ

◆ あなたの学級では、新聞記事を使って、思ったことや考えたことを交流する活動を行っています。次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。

(例) かわいいカラスの来客
※十五字以内で、記事の内容に合っていれば、正答。

肩や腕でひと休み



人を怖がることなく肩に止まるカラス＝武雄市橘町の橘ライスセンター

武雄市 橘
ライスセンター

や肩に乗せると時折目を閉じて静かに休んでいる。農家にとってカラス被害は深刻で、橘町でも数日前に稲の苗床が荒らされたばかり。同センター利用組合の角行男組合長(71)は「いつも悪さばかりするにっく敵だが、こうして来られると…」と苦笑い。

日本野鳥の会県支部の馬場清さん(68)は「ひなの時から飼慣らしたものでなければ、あまり例のないこと。助けてもらったことに感謝しているのかもしれない」と話す。(村上大祐)

新聞学ぼう NIE

武雄市

麦刈りのピークを迎える中、

自由と見られ、腕や肩にピタリ。農家は「間近で見ると意外にかわいい」と頬を緩めている。

武雄市 橘町の橘ライスセンターに1日、人なつっこいカラスが迷い込んだ。農産物を荒らす「天敵」だが、目が不

午後1時ごろ、同センターの女性職員が敷地内でうすぐまっているのを発見。集まった農家が追い払おうとしたが、全く人見知りせず、腕

(佐賀新聞 平成 23 年 6 月 3 日付 13 面)

一 この新聞記事には、「見出し」の部分がありません。どんな見出しをつけるか、記事の本文を読んだり写真を参考にしたりして、新聞記事の中の [] に、内容に合う見出しを十五文字以内で書きましよう。

二 この記事の「意外な点」や「おもしろさ」はどんなところかを考えて、それを伝え合います。あなたなら、どんなことを伝えますか。文末は、「〜こと。」で終わるようにして一文で書きましよう。

・カラスは、ふだんは敵なのに、人なつっこくて人見知りしないこと。

・天敵のカラスのことを「間近で見るとかわいい。」と農家の人が言っていること。

※記事の内容に合っていて、「〜こと。」につながるように書いていければ正答。

活用

新聞記事に見出しをつける ②

名前

こたえ

◆ 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。



熱が通りやすいようにカレー用のニンジンをすりおろす児童—佐賀市兵庫町のほほえみ館



佐賀市

エコにこだわった親子料理教室が23日、佐賀市のほほえみ館で開かれた。市内から親子11組30人が参加し、節約カレーなど4品を完成させた。カレー作りでは、最低でも数十分かかる煮込み時間を6分に短縮。ごだん角切りに

するジャガイモやニンジンなどすべての野菜をすりおろし、熱を通しやすめたほか、ひき肉はあらかじめゆでてから鍋に加えた。レシピを考案した環境サポーターの山崎佐智さんは「油を減らした調理法なので、カロリーも『エコ』になります」。母親と参加した神野小4年の古賀天愛さん(9)は「具材を細かくするだけで節約になるのは不思議だし、すごい」と感想を語った。佐賀市は2012年度までに燃えるごみを08年度比で10%減量することを目標に設定。その一環として、食べ物や資源の大切さを見直し、省エネを実践する場としてエコ料理教室を毎年開いている。

(佐賀新聞 平成23年8月24日付 9面)

一 この新聞記事には、



に入る「見出し」がありません。どんな見出しをつ

けるとよいでしょうか。記事の本文を読んだり、写真を参考にしたりして、内容に合う見出しを十五字以内で書きましょう。

親
子
で
エ
コ
料
理
に
ち
ょ
う
せ
ん

【別の答えの例】節約カレーでエコ料理(十字)、省エネ実践！エコ料理教室(十二字)、

エコにこだわった親子料理教室(十四字)

二 あなたの学級では、この記事を使って、思ったことや考えたことを交流する活動を行うことになりました。あなたなら、この記事を使って、「食べ物や資源の大切さ」についてどのようなことを伝えますか。文末は、「〜こと。」で終わるようにして一文で書きましょう。

(例) ・切り方をくふうしたり油を減らしたりすると、時間や資源が節約できる(こと)。()

・野菜を細かく切って料理をすると、省エネにつながる(こと)。()

※記事の内容に合わせて、「〜こと。」につながるように書いていけば正答です。